

創刊のことば

地質調査所は太平洋戦争中その廳舎が多くの資料や設備と共に烏有に歸したためと、終戦後の社會狀勢の混亂とにより一時その活動が極度に縮少するのやむなきに到つた。

しかしながら我國の復興の氣運と共に國民經濟生活の維持發展に寄與することを目途とする地質調査所の事業もまた次第に活潑となり、所員の作成した調査研究の報告書は日々に蓄積されるようになった。従來は用紙の入手困難印刷所の未復元、豫算の不足等に妨げられてこれらを刊行公表することができずわずかにその一部分を謄寫版刷の速報として、少部數を關係方面に頒布していたのに過ぎなかつた。しかるに公表すべき報告書は、ますます累積される一方、それらの公表に對する各方面からの要望もしきりとなつてきたので、上述の出版をはばむ諸條件の一部の緩和を幸に、ここに終戦後滿5年のこの8月を期し、活版印刷による月報の刊行を實施し、本所の事業成果公表の責務を果すことにした。創刊號より第5號までに収録される報文、速報類は従來の蓄積を一度に出すこととした爲調査年次のやや古いものが多いが、漸時最新の報告が掲載される様になる筈である。ただし紙面の都合上報文を極度に壓縮し附圖の大部分を割愛したものが多くを諒せられたい。詳細にわたつて記載する必要あるものは従來に引續き地質調査所報告として刊行することにする。

この月報の刊行により我が國の資源の開発、國土の有効利用に直接關接に貢獻することがあれば幸である。

昭和25年8月11日

工業技術廳地質調査所長 三 土 知 芳